

平成 28 年 5 月 26 日

公益社団法人 日本技術士会
近畿本部機械システム部会 会員各位

公益社団法人 日本技術士会
近畿本部機械システム部会
部会長 飯野 勝彦

第 59 回 機械システム部会 例会開催のご案内

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

近畿本部機械システム部会主催の第 59 回例会を下記の通り開催いたしますので、ご案内申し上げます。今回は、原子力に関する業務に長年、設計の現場で携わってこられた立場からのご講演と、企業内技術士でありながら更に社会人大学院生として博士学位をも取得されるに至った動機や体験談等に関する講演の 2 件をご用意いたしました。

また、講演会に引き続いて懇親会も行いますので、皆様のご参加を併せてお願いいたします。

記

1. 日時：平成 28 年 7 月 9 日（土）
12:50 受付開始、 13:20～17:00 講演会、 17:15～19:15 懇親会

2. 会場：

講演会 ～ 施設名：高槻市総合市民交流センター（クロスパル高槻）5 階 視聴覚室
所在地：高槻市紺屋町 1-2
アクセス：JR 京都線（東海道本線）高槻駅 下車 線路沿いに東へ徒歩 1 分。
阪急京都線 高槻市駅下車 北東へ徒歩 7 分。
京阪枚方市駅北口より JR 高槻駅および阪急高槻市駅行きの京阪バスあり。
（運行頻度：10 本/時間、所要 22 分、260 円）

懇親会 ～ 店名：北海の恩返し 高槻店
所在地：高槻市高槻町 11-23 土屋第 1 ビル 3F
電話：072-685-1603
URL：<http://r.gnavi.co.jp/ka7c309/>

3. プログラム

12:50～	受付
13:20～13:25	機械システム部会長よりご挨拶
13:25～14:50	講演①「概説：原子力発電の歴史、基礎、今とこれから」 大西 祥作 技術士（機械、原子力放射線、総合技術監理部門）
14:50～15:00	質疑応答
15:00～15:15	休憩
15:15～16:30	講演②「技術者が企業に勤めながら博士号を取る方法 — 国際社会に出るための切り札としての博士号 —」 田尻 明子 技術士（機械部門）
16:30～16:40	質疑応答
16:40～16:55	アンケート記入・回収、事務連絡（次回以後の例会案内等）、後片付け、撤収
17:00 頃	集合写真撮影（会場前）→ 懇親会場へ移動
17:15～	懇親会

4. 講演紹介

講演①

講演タイトル： 概説：原子力発電の歴史、基礎、今とこれから

講師： 大西 祥作 技術士（機械、原子力放射線、総合技術監理部門）

講師略歴：

昭和 57 年 3 月 長岡技術科学大学大学院卒業（機械システム工学専攻）

昭和 57 年 4 月 三菱重工業（株）入社

神戸造船所 原子力設計部 原子力装置設計課配属。

原子力発電所向け大型クレーン等の基本計画、設計に従事。

平成 11 年 4 月 六ヶ所再処理工場向け使用済燃料及び廃棄物搬送設備における計画～現地試験に係る業務に従事。

平成 19 年 1 月 MO_x（混合酸化物）燃料工場建設に係るプロジェクト業務に従事。
（現在に至る）

講演概要：

平成 26 年 4 月に改定されたエネルギー基本計画の中で、原子力は安全性の確保を大前提に、エネルギー需給構造の安定性に寄与する重要なベースロード電源の一つとして位置付けられています。原子力発電に対する理解がなかなか進まないのが現状ではないでしょうか？本講演は、原子力に対する議論を深めるの一助として、原子力、その中でも原子力発電に関する、歴史、原子力発電の基礎、そして今とこれからについて、概説をするものです。それぞれのキーワードを以下に示します。

- 1) 歴史：アメリカからの技術導入とその後の国産化
- 2) 原子力発電の基礎：核分裂と発熱、発電所形式（PWR、BWR）
- 3) 今：福島第一事故を受けた原子力発電所の安全対策
- 4) これから（その1）：新しいタイプの原子炉について
- 5) これから（その2）：日米原子力協定の行方と核燃料サイクル

講演②

講演タイトル： 「技術者が企業に勤めながら博士号を取る方法 — 国際社会に出るための切り札としての博士号 —」

講師： 田尻 明子 技術士（機械部門）

講師略歴：

平成 5 年 日本大学 理工学部 航空宇宙工学科 卒業

同年 阪神内燃機工業（株）入社

平成 18 年 村田機械株式会社 京都 R&D センター 入社

平成 22 年 技術士（機械部門）取得

平成 24 年 村田機械株式会社 犬山事業所 Logistics & Automation 事業部 所属

平成 25 年 岐阜大学大学院 工学研究科 博士課程後期 生産開発システム工学専攻 入学

平成 28 年 9 月 博士（工学）取得予定

講演概要：

「企業で勤める技術者に、なぜ博士号が必要か？」「どのようにして取得するのか？」「そのメリットは？」

私は村田機械の犬山事業所で物流機器の共同研究開発をしていた時に、共同研究先の先生にお声をかけて頂いたのがきっかけで、会社で仕事をしながら岐阜大の研究室に入ることになりました。社会人が博士号を取得する方法としてよく知られているものに、リタイヤした後に個人で執筆して取得する「論文博士」というものがありますが、これは日本だけの固有の制度です。どのようにすれば企業の技術者が会社で働きながら「課程博士」として研究室に所属しアカデミックなネットワークを構築していくか、また、私自身が国際学会や海外の研究者との交流で得たこと、技術者が国際基準を満たすために必要な前提条件について日本ではあまり共有されていない事実を、本日は皆さんとシェア出来たらと思います。

5. 参加費

講演会： 日本技術士会会員ならびに準会員 1,000 円、非会員 2,000 円

なお、合格者祝賀会にて配布のパスポートをご持参の方は、無料にて聴講いただけます。

懇親会： 4,000 円

6. 参加申し込み方法

1) 日本技術士会近畿本部機械システム部会のWEBサイト

<http://www.ipej-knk.jp/bukai/kikai/kikai-gyouji.html>

にアクセスし、7月の「例会参加申込」画面に所定の項目をご記入の後、「確認」を押して送信してください。

2) WEB環境の整わない方は、下記メールアドレスからの参加の申し込みも可能です。「会員（技術士、部門）」「準会員（技術士補、部門）」又は「非会員」を明記の上、「講演会」および「懇親会」への参加・不参加をご連絡下さい。

info@mechasys.ipej-knk.jp

（迷惑メール防止のため@の前に半角スペースが入っています。上記アドレスにメールをお送りの際は、半角スペースを削除して下さい。）

講演会、懇親会の両方ともに不参加の場合は、ご連絡は不要です。

以上

懇親会への参加申し込みの直前キャンセルへの対応について

これまで当部会では、懇親会への参加を申し込まれた方がキャンセル料が発生する時点以後にキャンセルされた場合でも、その方からはキャンセル料を申し受けず、部会会計により穴埋めする場合がございます。しかしながら、部会会計残高が決して潤沢なわけではなく、また、モラルの欠如を容認しないためにも、幹事会では、やむを得ない事情によるものでないキャンセルに対しては、将来的に相応のペナルティを課す方向にて議論を進めております。

以上、ご諒解のほどよろしくお願いいたします。